

THE GOLDEN SLAM OF COACHING CERTIFICATION

<指導者認定試験のゴールドスラム達成>

ニマ・ナデリ

コーチングのゴールドスラムを達成して、あらゆるレベルのプレーヤーにあらゆる場面で対応できるようになることを考えてみましょう。

コーチとして過ごしてきた17年間で、私は認定試験を受けることなど考えてもいませんでした。初心者や、趣味としてテニスを楽しむ人達の指導や、カナダのナショナルランキングを持つジュニアの指導もしてきた私は、すでに自分が持っている知識を向上させる必要性を感じていませんでした。しかし、この4ヶ月間で全てが変わりました。私の知識やコーチングスキルや外見は、PTRの全ての認定コースを修了して、全てにプロフェッショナルの資格をとれたことで劇的に変化しました。

私が勤めるBayview Tennis Clubのテニスディレクターで上司のジェフ・ブラウアー氏の勧めを受けてPTRのメンバーとなって、近くで開催される”10&Under”と”Adult Development”のワークショップを受けることにしました。何でも受け入れて新しいことを学ぼうという気持ちで参加しました。参加してみて、まず与えられた資料にとっても感激しました。クリニシャンは、PTRの開発担当ディレクターのブライアン・パーコネン氏で、彼に出会った瞬間に、3日間のワークショップは期待以上のものとなる予感がしました

彼の陽気でポジティブな対応のお陰で、内容の濃いコースでしたが、適切で効果的に理解することができ、テニスの指導はこうあるべきだと実感しました。我々指導者は、往々にしてメッセージの伝え方をないがしろにしがちです。生徒たちに対する思いや関心がいくらあっても、その表現が否定的であったり批判的であったとしたら、メッセージは伝わらず、生徒の成長は停滞してしまいます。不動産業者が物件の立地条件を重要視して力説するのと同様に、テニスコーチは生徒が上達していく全ての過程においてポジティブであるべきです。

“Adult Development”を受けてみて、フォアハンド・バックハンド・サーブの指導について、ストローク分析と矯正法の手法も含めて、指導技術をより集中的に身に付けることができたことを感じました。コースの最後に受ける5つの部門の試験の中では、球出しの技術試験とストローク分析の試験がとて印象的でした。矯正の方法に関する情報は、どんなレベルのプレーヤーにも対応できるものであり、皆さんもなにか新しい発見を得られるものと思います。

“10&Under”では、子どもたちに適した用具を用いることの重要性が強調されていました。適切な用具を用いることは、子どもたちに成功体験をさせる上での最高の要素となっていることが明らかになってきています。適切な用具を用いて、子どもたちが楽しめる環境を整えることで、彼らの「やる気」を高め、将来における「バーンアウト」を避ける事になるでしょう。

こうしてPTRの2つのコースを修了して学習意欲に火が着いた私は、数カ月後の”11-17”と”パフォーマンス”も受講することにしました。

“11-17”では、楽しみながらテニスの上達を目指すけれども競技志向ではない子どもたちにどのように接したらよいかということがテーマでした。クリニシャンは再びパーコネン氏でした。ワークショップの内容は、オープンスキル手法を用いた指導法という興味深いものでした。この理論には感激しました。プレーヤー同士で球出しをしたり練習をしながら学習を進めるという方法なので、コーチは自由に動きまわって、一人一人のプレーヤーへの対応がしやすいのです。私自身は、自分がずっと球出しをしてレッスンをするという方法は、生きたボールの経験をさせることができず、動きや状況判断のニュアンスをあわせて学ぶことができないので、好きではありませんでした。”11-17”の指導法は、コーチは球出しをせずにプレーヤーたちにラリーをさせるだけのやり方だというのではなく、レッスンの「クローズド」の部分で適切な技術的アドバイスを与えることで、プレーヤーはより楽しく積極的に参加できる環境で技術を伸ばせるようになります。つまり、PTRが教えてくれる方法を用いればレッスンは良いものになるので、私の生徒さんたちも最近の私の変化を気に入ってくれています。

私の指導者認定試験のグランドスラムの最終章となる”Performance”は、私が指導で最も力を注いできている分野であることもあり、競技レベルのジュニア指導に関する高いエネルギーレベルと内容の充実したコースには、私も含めた参加した12名のコーチたちは今までに不安であった部分を解決することが出来ました。このワークショップでも、ポジティブでやる気を起こさせるような姿勢の大切さを強調する内容に改めて感激しました。トーナメントレベルの子どもたちを指導しているコーチたちにとって、このコースは今までの豊富な知識に多くの新たな情報を加える事となり、指導内容を見直すためにはどのようにしたらよいかという指標を与えてくれます。

私の経験からしても、多くのコーチの皆さんには、指導に関する知識の幅を広げる機会を得ることをおすすめします。

まず、PTRのこれらのコースは、指導対象がそれぞれに異なります。10才以下の子どもたちに大人と同じような指導方法を用いることはできませんし、テニスを楽しむことだけを目的とした子供に、競技志向の子どもたちと同じような指導方法を用いることはできません。

そして、「オープンスキル」の指導方法は、子供にも大人にも良い効果を生みます。我々指導者が「球出し係」から本当の意味での「コーチ」になるための要素を教えてください。プレーヤーが興味を失うことなく、よりレッスンに関われるようになります。そして、よりテニスを楽しめるようになり、生涯テニスを楽しむことにつながります。

最後になりますが、ポジティブな表現の持つ力を見なおしてみましょ。以前の私は、必要以上に生徒に厳しくあたることが多かったのですが、PTRのコースを受けたことによって、レッスンのあらゆる場面でポジティブに接することのほうがよい結果を産み、皆が幸せになれるということを学びました。

まだPTRが提供してくれているプログラムをご存知でない方は、要確認です。私はPTRの一員となれたことを誇りに思い、PTRとコースを紹介してくれた上司に感謝したいと思います。

【編集室より】

図でご覧の通り、PTRは指導者のための5番目のコース”Senior Development”を加えました。ベビーブーム世代の方々がシニアの年代に入り始めてきていることは、テニスコーチにとっては良いチャンスと言えます。50代でまだまだ若いと思っている人たちでも、いやがおうにも身体や能力の変化を感じています、小さな子供にジュニア選手の指導法を用いないのと同様に、シニアの人たちには彼らの状態に合わせた指導法が必要となります。PTRは多くの研究を重ねて、55歳以上の人たちのための指導システムである”Senior Development”をまとめあげました。多くのシニア世代の人たちにテニスコートで汗をかいてもらいたいと思います。オンタリオで開催される”PTR Senior Development Workshop”には、ニマは間違いなく参加することでしょう。

【筆者紹介】 Nima Naderi: カナダ・オンタリオ州ソーンヒルのベイビュー・ゴルフ&カントリークラブのヘッドプロ。PTRのAdult Development, 10 & Under, 11 to 17, Performanceの4つのコースを修了。2015年のPTR新人賞を受賞。Tennis Connected.comの主筆を務め、テニスカナダ、ATPワールドツアー、テニスビューマガジンに寄稿。iTunesにTennisConnectedのポッドキャストをアップしており、好評を博している。

【翻訳・監修】 鈴木真一